

第1回豊明市文化会館運営協議会議事録

平成26年7月5日（土）10時～

豊明市文化会館 第1会議室

委員 会館の改修計画で、まだ金額は出ていないのか。

事務局 これから、入札です。金額の詳細はきまっていません。

委員 25年度の自主事業採算は取れているのか。文化はお金ではないが、あまりにも将来立ち行かぬようではいけないのではないのか。どのような状態か。

事務局 採算は取れてはいないのが現状です。事業全体で約1300万の委託料に対して収入として入ってきている金額は600万程度で、約700万は赤字です。チケット売りについても今年度からチケットぴあを利用するようにしました。また、隣接市町の状況・経験を聞きながら演目を考慮した今後のぴあ売りをつめていきます。

収益採算のことは、文化会館の規模決定をするときの議論にありました。そのときから、収支合わせるには1500席必要であり、利益を出すのは困難と承知しながら市民の方に利用していただき半分は市民の方に負担いただきたいという設定であり、いろんな芸能部門さまざまなジャンルの対応で利用できるようにと考えられた施設です。

委員 福祉体育館が、指定管理になった。指定管理というのは企業経営だ。豊明市財政も厳しく、危機感を持っているが、そのあたりのことはどうなのか。

事務局 財政の危機というお話いただきました。施設の更新改修の時期をあちこちの施設が迎えております。この文化会館も空調等、市民文化活動の拠点であり、皆さんに使っていただいてこそその施設なので、今後皆さんにご意見を伺っていきたいと考えています。

委員 櫛庵の利用について、もっとほかに利用していいことにしたらどうか。

事務局 使用のとりきめ等の見直しをしなければいけないと思っています。

委員 学校と連携した事業の実現を。

事務局 なかなか難しいのは、交通事情や使い勝手の悪い会館であるためだとも思っています。

学校との連携事業で「会館で、こういった事業あります。」というとき、どのように保護者さんに負担をお願いするかなど、教育部長が持ち帰り、指導室にも相談します。